



令和4年 9月の保育園だより



坂みみよう保育園

『盆踊り・夏祭り会アンケートより』

- ◆コロナ禍で、本格的な「夏まつり」の行事は、地域でもないのに、昨年度と内容も違い、子どもにとっても親にとっても思い出に残る行事になりました。
 - ◆人数制限などありましたが、2部制にすることで（昨年は3部）混雑することなく十分あそぶことができました。
 - ◆昨年はなかった盆踊りは、日本の文化でもあると感じることができました。
 - ◆お部屋の中でいろいろなコーナーがあり、涼しかったのでありがたかったです。廊下でのスーパーボールすくいも廊下だったので少し狭くて混雑していました。
 - ◆送迎時使用以外で駐車場を利用されている方がいたり、保育園前や隣の禁止されている場所に送迎の車を駐車するなどを見かけました。事故などおきる前にアナウンスなどされると良かったのではないのでしょうか。
 - ◆コロナ禍で生まれた子どもは、季節のイベントなど全く触れる機会がありませんでした。よく夏まつりということが分かっていないかもしれませんが、すべてのコーナーで楽しんでいる姿があり、親としてもとても嬉しかったです。
- ◎町内のコロナ感染の陽性者急増により 8/6から 8/27に延期になったので、少し涼しくなったこともあり、熱中症の心配をあまりすることなく開催をすることができました。室内でのいろいろなコーナーでは、保護者の皆様と楽しむ子ども達が笑顔いっぱい楽しむ姿が印象に残りました。盆踊り（「花火がドーン！」「坂町音頭」）のコーナーでは、子ども達に混じって踊って下さるお父様やお母様が多くおられ盛り上がりました。
- この夏まつり会としての行事の体験が、9月のあそびや異年齢の関係性をひろげてくれることでしょうか。
- ◎駐車場の利用については、行事の時だけでなく送迎時に保育園の駐車場以外に駐車されている姿を見かけます。マナーとしても子ども達に親の後姿を見せていきたいものです。ご理解、ご協力をよろしく願いいたします。

『新しい時代を生きぬく力』

～0歳から大切にしたい探究心の芽生え～
先月初旬からお盆の頃まで、コロナ感染は園内でも拡大の恐れがありましたので、休園の措置に踏み切ったり、その間登園の自粛に協力をいただいたりと、保護者の皆様には大変ご心配やご迷惑をおかけいたしております。

保育園が通常に戻るにはまだまだ時間がかかるかもしれませんが、子ども達が保育園でのあそびの中で、様々なことを学ぶ環境だけは整えたいと日々取り組んでいるところです。

熱中症警戒アラート情報を見ながら、園庭での水遊びにも制約や時間配分が必要ではありましたが、夏の生活やあそびを通して子ども達はいろいろなことを学び、探究の芽を育てている様子が見えかけます。

0歳児は「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちが通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」という大きな3つの視点が複合的に絡まって生活やあそびを展開していきます。

「抱っこされて安心する」「視線を合わせ、おいしいねと微笑み語りかけられながら授乳や食事をする」「あやされて信頼関係を育みながら喜び」「オムツを交換したり、沐浴をしたり鼻水を拭いてもらったりしながら気持ちのいいことを味わう」「着替えをすることですっきりした気持ちを体験をする」「抱っこされながら安心して眠る」など保育園の生活では、応答的な関係性の中で一人ひとりとの信頼関係を築いていくことからはじめています。

あそびでは、「動くものを目で追う」「いないいないばあ遊びなどで表現の喜びを体験する」「玩具や素材をなめる、しゃぶる、いじるなど自由に触れることや手を伸ばしてつかむことを楽しむ」「寝返り、うつ伏せ、グライダーポーズなどして身体を動かすことを楽しむ」「ハイハイ高ばい、つかまり立ち、つたい歩き、歩行と自らの移動を楽しむ」「ものを出したり入れたり叩いて音の出方を楽しむ」「身近な物や玩具に働きかけることを楽しむ」「絵本や大

人との応答的なやりとりを楽しむ」など乳児の時から主体的にものや人に働きかけながら成長しております。言葉を変えれば乳児の時から大人に見守られ語りかけてもらいながら自分らしく生きようとしているのです。

1歳児さんが手洗い場の蛇口に吸い寄せられるように集まり、水の出ているところに手をかざし、水の変化を五感を通して楽しむ姿。

2歳児さんが雨だれのように落ちてくる水滴をペットボトルに集めようと角度を変えながら試している姿。

3歳児さんが両手に持った2本の小さなペットボトルの色水に、太陽の光を当て、色や影の変化を楽しんでいる姿。

4歳児さんが砂場の砂、園庭の山の土、畑の土などを水と混ぜたり固めたりして、その違いに気づき合う姿。

5歳児さんがプールで浮くためにはと、ペットボトルを両脇に抱えたり、足に挟んだりして友だちとその違いや発見を言葉で伝え共有する姿。

全て大人が教え込んだあそびではありません。探究心の芽生えが少しずつ人やものとの関わりの中で開花し、主体的に学んでいる姿だと思うのです。

大人は子ども達に教えなければとか指導しなければとか思いがちですが、乳児の時から可愛がられ、お世話をしっかりしてもらい、視線や対話を通して身近な人と気持ちが通じ合う体験、色んな環境やものとの出会いの中で、自分の感情をコントロールし、状況判断のできるこそ、将来にわたって大切にしたい探究心の芽生えだと言えるのではないのでしょうか。

今月は、0, 1, 2歳の保護者を対象に、子育て支援で活躍されておられる南夢未先生をお招きして、子ども達との楽しい関わり方について学びたいと思います。

親子の関わり方の基盤があってこそ、新時代を生き抜くために必要な物事の本質を見抜く探究心や指示がなくても自分で判断して何をしたら分かるような成長へとつながることでしょう。 (園長)

乳児クラス保育参観・家庭教育学級

広島県下、坂町でも新型コロナの感染者数が大幅に増えているところですが、保護者の皆様とともに感染拡大予防をしながら、新入、進級から半年を過ごした0, 1, 2歳児の子ども達を参観していただいたり、家庭教育学級（親子触れ合いあそび）を開催したいと思います。

健康観察表には必ず家族の健康状態も記載をしていただき、来園時には子ども達とともに、保護者の皆様の検温もお願いすることになりますので、ご協力をお願いいたします。（同居の保護者のみ2名まで）。小学生のきょうだいはご遠慮ください。在園のきょうだいは終了まで保育をいたしますので、担任までお知らせください。

日時：9月10日（土）

2歳児クラス

家庭教育学級
午前9時～10時（ホール）
保育参観（うんどうかいごっこ）
午前10時15分～11時15分

0, 1歳児クラス

保育参観
午前9時～10時15分（各クラス）
家庭教育学級
午前10時30分～11時15分

家庭教育学級（親子触れ合いあそび）

『 a♥utd
らしく楽しく 親子で笑顔に！』

講師：あそび工房ゆめみ主宰
南 夢未 先生

- 子育て支援の第一線で活躍されるかたわら 楽曲の作曲（心のねっこなど多数）や保育雑誌の連載、ウクレレ教室など多方面にわたり活躍。
- 平成30年の豪雨災害時には、子ども達にたくさん笑顔になる出会いをたくさん企画してくださいました。
- 親子の触れ合いを通して、この時期に育みたい、愛着の重要さにも気付かせていただける時間になることでしょうか。

※送迎以外の駐車場の利用はできません。
※室内でのマスクの着用はお願いいたしますが、園庭での活動の場合は熱中症対策としての着用の有無はお任せいたします。水分補給の対策も合わせて、それぞれのご家族でお願いいたします。
※家庭教育学級時の未入園児の託児につきましては、事前の申し込みをされた方以外は利用できません。また保育参観中の託児はありません。家庭教育学級の時間帯のみです。期間内に申し込みをして下さい。（後日役場生涯学習課より配布）

